

一般質問



水野 千代子 議員

子どもに配慮した場所の選定を

会場は選定中で県と調整する



夢がふくらむ卒業式（幸田中学校）

問 対象となし得る子どもの人数は。

答 生活困窮・生活保護世帯など269人が対象。

問 町内で学習支援を実施するが、子どもに配慮した場所の選定と多くの受け入れを。

答 県事業で定員が12人。会場は選定中であり、県と調整し配慮する。

問 孤食の子どもたちの居場所づくりとして、「子ども食堂」の実施を。県内の現状は。

答 19市33カ所を実施している。どう取り組むか、研究課題としていく。

問 教育長として、子どもの貧困、学習支援の考え方は。

答 教育長 喫緊の課題であり、かなり丁寧な扱っが必要がある。できる手を打っていきたい。

問 今年の4月より新しい総合的事業がスタートする。高齢者・障がい者への丁寧な相談、支援などと、成年後見支援センターも開設される。社会福祉協議会の果たす役割は益々重要となる。主な事業と職員数は。

答 健康福祉部長 高齢者・障がい者支援、生活福祉支援、見守り配食、歳末助け合いなど20事業と会長を含め29人。

問 地域包括支援センターの事業と相談件数は。

答 ケアプランの作成や総合相談事業。年間6266件。

問 中学校区に一つの地域包括支援センター設置を。3万人ぐらいの中学校の人口単位であり、現状の体制ですすめる。

答 社会福祉協議会の施設は狭い。増築を。

問 業務内容が増えており、社会福祉協議会と協議。認知症の当事者・家族会の設置を。

答 地域包括支援センターで認知症家族交流会を6回、昨年8月から若年性認知症カフェを月1回開催し家族が参加している。傾聴ボランティアなど養成講座の受講料の免除を。

問 社会福祉協議会で無料で実施。他の研修会受講の補助は今後検討。

答 地域の人や、本光寺で歴史語り継がれてきた調査は、学者も使う重要な行為の一つ。

一般質問

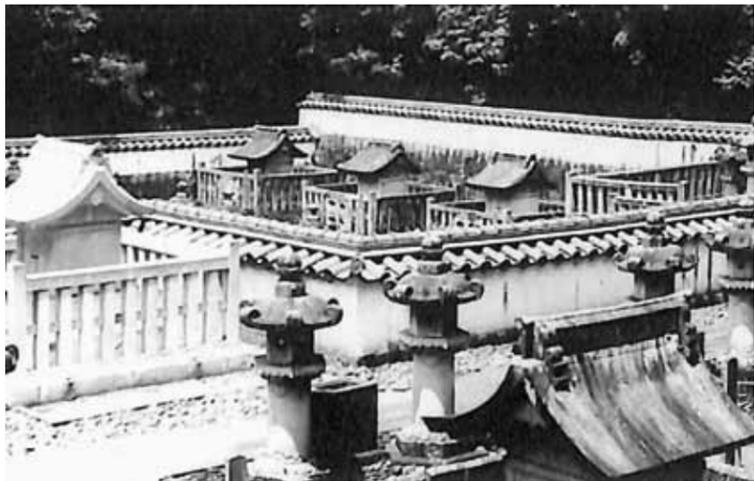


中根 久治 議員

三河地震が土塀を全壊させたか

大きく崩れた原因であった

築地塀の破損を三河地震に因るものとして紹介（島原藩主深溝松平家墓所保存管理計画）



三河地震で破損する前、昭和10年代の築地



三河地震で破損した築地

問 土塀の崩落を三河地震に特定した根拠は。

答 教育部長 長年の風雨で徐々に傷み、大きく崩れた原因が三河地震であった。

問 記録、文献がなく、本光寺の聞き取りによる。

答 松平墓所の土塀が三河地震によって全壊したとする根拠は何か。

答 一晩で壊滅的という

問 表現は、強調した部分があった。

答 地震発生4日後、額田地方事務所に提出した調査書に本光寺被災の報告がない。認識の違いはないか。

答 主な建屋に倒壊の被害がなく、報告をしなかったと思われる。現在では確認できない。

問 地震直後、本光寺は小

問 土塀の崩落は地震発生時、幼児であった住職への聞き取りが唯一の根拠とされる。検証されたか。

答 土塀の崩落は地震発生時、幼児であった住職への聞き取りが唯一の根拠とされる。検証されたか。

問 学1年生などの教室になった。被害のない安全な場所ではなかったか。

答 深溝小学校が倒壊して里地区の長満寺、松林寺、三光院、本光寺で授業がおこなわれ、安全であった。

問 土塀の崩落は地震発生時、幼児であった住職への聞き取りが唯一の根拠とされる。検証されたか。

答 土塀の崩落は地震発生時、幼児であった住職への聞き取りが唯一の根拠とされる。検証されたか。